

2019年度 日本文化人類学会 第5回理事会 議事録

日時：2019年12月14日（土）14：00～18：00

場所：東京外国語大学本郷サテライト5階

<出席理事>清水展、赤堀雅幸、綾部真雄、飯田卓、石井美保、石田慎一郎、伊藤泰信、風間計博、亀井伸孝、川田牧人、木村周平、栗田博之、佐々木重洋、中谷文美、松村圭一郎、箭内匡

<出席監事>関根康正

<委任状提出者>窪田幸子、曾我亨、高倉浩樹、棚橋訓、速水洋子、森田敦郎、森山工

〔承認事項〕

1. 第4回理事会議事録（案）について承認。
2. 新入会員12名につき、業務執行理事で入会を承認したことを報告し、事後承認。
3. 学会費未納4年目の会員への対応について、会費納入ないし正式な退会手続きのいずれかの手続きをとらない場合には退会処理を行うことが承認された。これに向けて、12月中にメールで会費納入依頼及び退会意思の確認を行うこととした。

〔報告事項〕

1. 代表理事報告
 - ・第46回澁澤賞贈呈式へ出席したことを報告。
 - ・次期理事会への引継ぎに向けて各委員会で準備を進めるよう依頼。
 - ・Alumni制度（高齢会員に対する年会費の減免）について、新たな割引制度のような形での導入が可能か検討を進めていること、次回理事会でAlumni制度についての提案を行う予定であることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・第29回代議員選挙より海外在住会員に選挙権・被選挙権が付与されたことに伴う、投票用紙発送作業の前倒しに必要な代議員選出規則の部分修正について、理事会メンバーリストでメール稟議を行い、11月6日付で承認されたことを報告。修正点は下記の通り。
 - （修正前）
第1条 代議員の定数は57名以内とする。この定数は、選挙の行なわれる年の1月1日現在の地区別会員数により比例配分する。（後略）
 - （修正後）
第1条 代議員の定数は57名以内とする。この定数は、選挙の行なわれる前年の12月1日現在の地区別会員数により比例配分する。（後略）
 - ・10月20日に第1回選挙管理委員会を開催したこと、12月8日に中川理選挙管理委員長と庶務理事とで被選挙人名簿の確定作業を行ったことを報告。
 - ・次回社員総会に向け、日本文化人類学会名誉会員内規第二章第二条第二項による推薦

を依頼。

3. 会計理事報告

- ・各理事に対し、今年度中の支出予定及び来年度の予算要求があれば会計理事または事務局へ連絡するよう依頼。

4. 総務理事報告

- ・第 54 回研究大会 2 日目に開催予定の GEAHSS 関連のシンポジウムの準備状況を報告。

5. 広報理事報告

- ・前回事業会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき 18 件の JASCA-INFO 配信を行ったこと、学会ホームページの Q & A コーナーに寄せられた質問へ回答を行ったことを報告。

6. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：綾部理事より、84 巻 3 号以降の進捗状況を報告。また、次期編集委員会は 2020 年度総会で次期理事会が承認された後に発足することになるため、今期委員会は従来より 1 号長く担当することを確認。
- ・JRCA 編集委員会：佐々木理事より、Vol. 20-1、20-2 の進捗状況を報告。
- ・法人化対応委員会：清水代表理事より、各種規程の整備を今期中に進めるよう依頼。
- ・研究大会実施委員会：木村理事より、第 54 回研究大会準備の進捗状況について報告。研究発表の前日である 5 月 29 日（金）に早稲田文化人類学会との共催で開催予定の公開シンポジウムに関し、文化人類学教育委員会委員長の松村理事が本学会側の担当者として今後プログラム等の議論に加わることを確認。
- ・地区研究懇談会：栗田理事より、各地区研究懇談会の開催スケジュールを報告。
- ・倫理委員会：亀井理事より、公開シンポジウム「アイヌ民族と博物館－文化人類学からの問いかけ」について開催日程やプログラムを報告。
- ・学会賞選考委員会：欠席の速水理事に代わり赤堀理事より、現在選考中であること、1 月に委員会を開催予定であることを報告。
- ・文化人類学教育委員会：松村理事より、2019 年度国際研究集会発表助成の対象者より報告書が提出されたことを報告。
- ・医療者向け人類学教育連携委員会：伊藤理事より、11 月 9 日に学会主催の公開シンポジウム「医学教育と文化人類学の新しい協働の形：現場への貢献可能性を探る」が開催されたことを報告。
- ・植松東アジア研究基金委員会：石田理事より、学会ホームページに 2019 年度の採択結果を掲載したことを報告。2020 年度の募集に向けて概要の説明があり、意見等があれば、1 月上旬までに連絡するよう依頼がなされた。2020 年度募集要項については次回理事会前に理事会メーリングリストで回覧することを確認。

7. 日本学術会議 文化人類学関係分科会報告

- ・欠席の窪田理事に代わり中谷理事より、自然文化人類学分科会と文化人類学分科会、多文化共生分科会で 3 分科会共催シンポジウムを 3 月 1 日（日本学術会議講堂）に開催予定であること、その準備のための研究会も予定されていることを報告。

〔審議事項〕

1. 『文化人類学』寄稿規程および執筆細則の改訂について
 - ・『文化人類学』編集主任の綾部理事より、『文化人類学』寄稿規程及び執筆細則改訂の経緯について説明があり、変更内容について箭内理事より説明がなされた。意見交換の結果、委員会からの提案に基づき、2020年度より寄稿規程及び執筆細則の改訂が承認された。改訂に伴い、投稿時に必要とされる各種テンプレートについても順次作成していくこととした。
2. JRCA 寄稿規程の一部改定について
 - ・JRCA 編集主任の佐々木理事より、国際化に対応するため非会員の投稿制限を緩和することが提案され、承認された。寄稿規程の改訂案については、文言調整の上、次回理事会へ提出、審議を行うこととした。
3. 課題研究懇談会の制度改定について
 - ・連絡担当の木村理事より、今年で活動4年目を迎えている課題研究懇談会「嗜好品の文化人類学」より1年の継続申請書が提出され、委員会で検討した結果、『文化人類学』「資料と通信」への活動報告書掲載が現時点で確認できないため、2月末までに投稿することを条件に、1年間の活動継続を認めるとの審査結果が報告され、承認された。
 - ・課題研究懇談会制度の改定については、現在、シードマネーと部会制の両方の要素を持つようになっているが、一旦募集を停止し、効果と今後について検証した上で、より良い制度を検討する委員会案が提示され、今年度の募集停止と検証を行うこと、検証結果は時期へ申し送ることが承認された。
4. 次世代育成セミナーの今後のあり方について
 - ・次世代育成セミナー担当委員会委員長の松村理事より、今年開催されたセミナーについて報告があり。これまでのセミナーの成果を確認するため、発表者の博士号取得者数の追跡調査を行う予定であることが報告された。
 - ・今後のセミナーのあり方については、①東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所との共催による東日本会場への一本化、②若手研究者の交流機会の増化と議論の活性化、③予算縮小の3点が提案され、審議の結果、承認された。
5. 学会歴史映像の運用に関わる覚書について
 - ・学会歴史委員会委員長の飯田理事より、本学会が国立民族学博物館と神奈川大学日本常民文化研究所との間で交わす『『日本文化人類学会歴史映像資料（DVD）』の利用に関する覚書（案）』が提示され、同じものを両機関へ送り、検討を進めていることが報告された。
 - ・神奈川大学日本常民文化研究所が保有する旧民族学振興会資料については、公開基準に則り、常民文化研究所で作成された資料一覧に基づき、原則的に会員に対し閲覧を認めること、会員は会員証の発行を受けてから閲覧すること、旧民族学振興会資料一覧については、資料検索できるよう何らかの方法で公開することが提案された。意見交換の結果、旧民族学振興会資料一覧の内容（サンプル）を再度確認し、資料利用の手続きを会員に対して告知する方法を次回理事会で継続審議することとした。
6. 渋澤民族学振興基金選考委員会推薦について
 - ・木村庶務担当理事より、任期満了に伴う2020年度渋澤賞選考委員会の委員長・委員の推薦依頼があったことが報告され、2020年度の委員長と新規委員推薦（2021年度委員

長案含む)に関する代表理事と業務執行理事による原案が承認された。

7. 学術会議の自然人類学分科会シンポジウムについて

- ・清水代表理事より、自然人類学分科会、多文化共生分科会、文化人類学分科会の共催で開催が予定されている公開シンポジウム(3月1日、於日本学術会議講堂)に向けて事前アンケートが検討されていること、自然人類学分科会から、その検討と準備のために本学会からもメンバーを出して欲しいとの依頼があったことが説明され、本学会からのメンバーの候補者について代表理事と業務執行理事で検討した原案が提示され、打診や推薦を進めることが承認された。

8. 名誉会員について

2020年度に日本文化人類学会名誉会員内規第二章第二条の条件を満たす会員2名を社員総会に推薦することが提案され、審議の結果、承認された。

9. その他

- ・木村庶務担当理事より、日本学術会議から「研究に関する男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査」について学会と会員への回答協力依頼があったことが説明され、審議の結果、会員宛の回答協力依頼をJASCA-INFOで配信することが承認された。
- ・第6回理事会は2月15日(土)開催予定。

以上